

# 「世界津波の日」高校生サミット

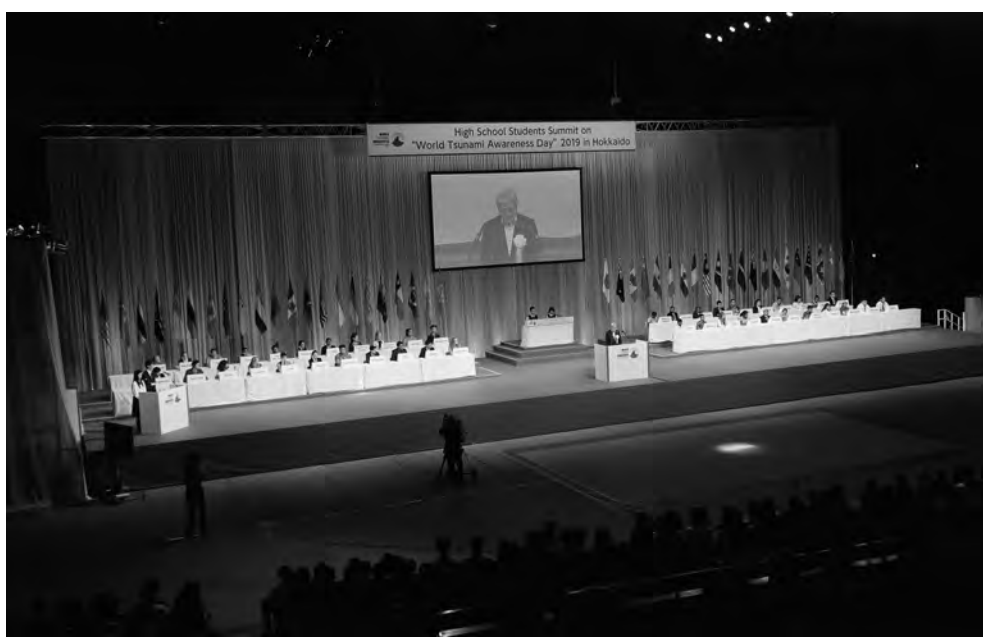
## 記念植樹・総会

「世界津波の日」高校生サミットの2日目(11日)は知事公館(札幌市中央区)での記念植樹でスタート。公館は1936年に三井物産株式会社の別荘として建てられたもので、53年から知事公館として使用され、一般公開も行われている。

各国代表生徒が公館庭園で記念植樹を行い、その後、鈴木知事が参加し、記念碑の除幕式が行われた。日本の女子高校生は「いろいろな国の高校生と仲良くなれてとても楽しかった」と笑顔で話していた。

舞台を再び北海道へ移し、議長(井戸さん)と桐越さんの開会宣言で総会が始まった。

主催者を代表してあいさつした道教育委員会の佐藤嘉大教育長は、「約400人の高校生が参加し、過去最大の規模のサミットとなった。次代を担う世界の高校生が一堂に会し、防災・減災、津波被害からの復興について理解を深



日本を含めた44カ国の高校生が一堂に会した(会場となった北海道庁)



分科会の成果を発表する生徒



佐藤教育長



UNDRRのカーシー官房長

## 若き防災大使の活躍に期待の声大きく

「自然災害から命を守るために何をすべきか」という問いかけが、中津波の脅威への関心が高まり、自然災害から命を守る対策が進むにつれて、世界を問わず、世界の高校生に引き継がれることで、世界に波及する可能性がある。中津波の脅威への関心が高まり、自然災害から命を守る対策が進むにつれて、世界を問わず、世界の高校生に引き継がれることで、世界に波及する可能性がある。



ビデオメッセージで歓迎のあいさつをする安倍首相

## 記者会見

全てのプログラム終了後、主催者らによる記者会見が会場内で行われた。鈴木直道知事、佐藤嘉大教育長、そして議長の大役を務めた井戸静星さん、桐越さんが出席し、サミットを振り返った。

## 新たな出発点「絆」を築けた

井戸さん 桐越さん



会見する(右から)鈴木知事、井戸さん、桐越さん、佐藤教育長

「サミットを通して得た経験やイランカラフテ宣言を移行することがサミットの目的であり、新たな出発点として、これからアクションを起こすことを願っています」と力強く語った。

桐越さんは「世界各国の若き防災大使が集まり、防災に対する意識や知識を話し合った。みんなまとめたイランカラフテ宣言を忘れず持ち帰って、友人や家族など周りの人に伝えてもらえればうれしい。分科会などでつながりが強く持たし、交流会でもいろんな人と絆が築けたと手ごたえを口にした。

「サミットを通して得た経験やイランカラフテ宣言を移行することがサミットの目的であり、新たな出発点として、これからアクションを起こすことを願っています」と力強く語った。

桐越さんは「世界各国の若き防災大使が集まり、防災に対する意識や知識を話し合った。みんなまとめたイランカラフテ宣言を忘れず持ち帰って、友人や家族など周りの人に伝えてもらえればうれしい。分科会などでつながりが強く持たし、交流会でもいろんな人と絆が築けたと手ごたえを口にした。



見事な書道パフォーマンスに大きな拍手が

## 記念植樹の模様



生徒代表による除幕式



生徒代表らがカプセルになって記念植樹



知事公館に設けられた記念碑



クロウディングアットマシヨ

## イランカラフテ宣言

「世界津波の日」が制定されたことを機に、翌2016年から毎年「世界津波の日」高校生サミットが開催されてきており、本年、私たち44カ国の高校生は、四季折々の表情を持つ自然に恵まれた北海道に集い、時に地震や津波、火山噴火、暴風雪などの災害をもたらし自然の脅威とその対応について学びました。

また、私たちは自然災害から命を守り、より良い復興に向けて何ができるかを、真剣な話し合いを通じて互いの心に触れ合い、世界各国の「きずな」を深めました。

私たちは、こうした成果

## 新旧のメディアを使い、すべての世代に自然災害の情報を発信します。

「世界津波の日」が制定されたことを機に、翌2016年から毎年「世界津波の日」高校生サミットが開催されてきており、本年、私たち44カ国の高校生は、四季折々の表情を持つ自然に恵まれた北海道に集い、時に地震や津波、火山噴火、暴風雪などの災害をもたらし自然の脅威とその対応について学びました。

また、私たちは自然災害から命を守り、より良い復興に向けて何ができるかを、真剣な話し合いを通じて互いの心に触れ合い、世界各国の「きずな」を深めました。

私たちは、こうした成果

「世界津波の日」が制定されたことを機に、翌2016年から毎年「世界津波の日」高校生サミットが開催されてきており、本年、私たち44カ国の高校生は、四季折々の表情を持つ自然に恵まれた北海道に集い、時に地震や津波、火山噴火、暴風雪などの災害をもたらし自然の脅威とその対応について学びました。

また、私たちは自然災害から命を守り、より良い復興に向けて何ができるかを、真剣な話し合いを通じて互いの心に触れ合い、世界各国の「きずな」を深めました。

私たちは、こうした成果

「世界津波の日」が制定されたことを機に、翌2016年から毎年「世界津波の日」高校生サミットが開催されてきており、本年、私たち44カ国の高校生は、四季折々の表情を持つ自然に恵まれた北海道に集い、時に地震や津波、火山噴火、暴風雪などの災害をもたらし自然の脅威とその対応について学びました。

また、私たちは自然災害から命を守り、より良い復興に向けて何ができるかを、真剣な話し合いを通じて互いの心に触れ合い、世界各国の「きずな」を深めました。

私たちは、こうした成果